

臨床看護実践能力習熟段階

日本看護協会承認資格

マネジメントリーダー
・サードレベル
・セカンドレベル
・ファーストレベル

スペシャリストリーダー
・専門看護師
・特定看護師
・認定看護師

クリニカルリーダーV

- ・院内において看護実践における役割モデルとなる
- ・看護単位における課題を明確にし、改革の推進者となる
- ・看護単位・院内において教育的役割ができ後輩の育成ができる
- ・管理及び専門分野の研究を行い、質の向上に寄与できる

クリニカルリーダーIV

- ・専門領域における看護実践の役割モデルとなる
- ・あらゆる場面でのリーダーシップが発揮できる
- ・後輩・学生に対して温かい指導的姿勢で関与することができる
- ・看護研究を通して専門領域を深めることができる

クリニカルリーダーIII

- ・看護過程を踏まえた個別的なケアが実践できる
- ・状況に応じたリーダーシップが発揮できる
- ・看護観・倫理観に基づいた看護実践ができる
- ・患者の安全の確保ができる

クリニカルリーダーII

- ・基礎看護技術を実践できる
- ・専門職業人として自覚と責任ある行動を身につけることができる
- ・受け持ち患者に安全なベッドサイドケアが提供できる
- ・救急時・災害時の対応を理解し、報告できる

クリニカルリーダーI

- ・院内の基礎看護技術評価を修了し、助言を得て実践できる
- ・看護職員として必要な基本姿勢と態度を習得している
- ・助言を得て受け持ち患者に安全なベッドサイドケアが提供できる
- ・救急時・災害時の対応を理解している

助産師クリニカルリーダー（レベルごとの到達目標）

※「助産実践能力育成のための教育プログラム」に準拠

リーダーレベルIV

- ・創造的な助産実践ができる
- ・助産外来において、指導的な役割を実践できる
- ・助産ケアにおいて、指導的な役割を実践できる
- ・ローリスク/ハイリスク事例において、スタッフに対して教育的な関わりができる

リーダーレベルIII

- ・入院期間を通して、責任を持って妊産婦・新生児の助産ケアを実践できる
- ・助産外来において、個別性を考慮したケアを自立して提供できる
- ・助産外来において正しい判断と適切な保健指導が自律してできる
- ・助産ケアにおいて自律してケアを提供できる
- ・ハイリスクへの移行を早期に発見し対処できる

リーダーレベルII

- ・助産過程を踏まえ個別的なケアができる
- ・支援を受けながら、助産外来においてケアが提供できる
- ・先輩助産師とともに主体的助産ケアを担当できる
- ・ローリスク/ハイリスクの判別及び初期介入ができる

リーダーレベルI

- ・健康生活支援のための知識・技術・態度を身につけ、安全確実に助産ケアができる
- ・助産外来・主体的な助産ケアについて、業務内容を理解できる
- ・ハイリスク事例についての病態と対処が理解できる

リーダーレベル新人

- ・指示、手順、ガイドに従い、安全確実に助産ケアができる

リーダーレベルIII以上で
アドバンス助産師に
チャレンジ・取得